

製品名: ガンマチューブリンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM84948**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|----------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | / |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | gamma Tubulin |
| 別名 | TUBG1; TUBG; Tubulin gamma-1 chain; Gamma-1-tubulin; Gamma-tubulin complex component 1; GCP-1 |
| 遺伝子 ID | 7283.0 |
| SwissProt ID | P23258 |
| 免疫原 | KLH に結合した合成ペプチド。 |

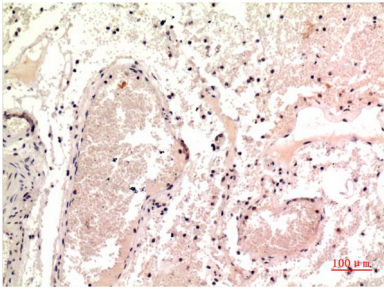
背景

TUBG1 チューブリンは微小管の主成分です。γ チューブリンは、紡錘体極や中心体などの微小管形成中心（MTOC）に存在します。α/β チューブリンのマイナス端核形成、中心体複製、そして紡錘体形成を制御する中心体周囲マトリックスの構成要素です。GCP2 および GCP3 と相互作用します。B9D2 と相互作用します。CDK5RAP2 と相互作用します。

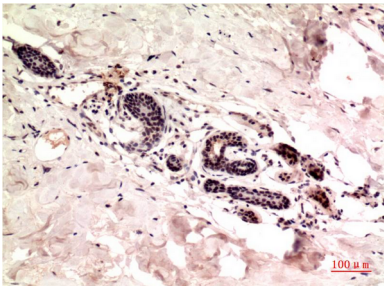
研究分野

-

画像データ



ガンマチューブリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ガンマチューブリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。